

各関係団体と町民代表の意見交換会 テーマ「安心・安全の町づくりにむけて」

●●●町の安心・安全を担うパネラーからのメッセージ●●●



**岩手警察署交通課長
佐藤 一成 氏**

葛巻町でも平成23年から毎年死亡事故が発生しています。交通事故は加害者も被害者も苦しまず。自動車だけでなく、未成年者も自転車やオートバイ事故で加害者になりうるので注意してください。



**葛巻町交通安全母の会会長
神谷 ミツ子 氏**

交通安全母の会では、葛巻町から加害者も被害者も出さないよう、街頭の見守りなどの活動を続けています。みんなで良い交通環境をつくり、安心・安全な生活を送りましょう。



**岩手警察署刑事課長
岡田 憲一 氏**

葛巻町では今年度、窃盗が4件、住居不法侵入が1件発生しています。そのうち自転車の窃盗では犯人が見つかりません。家、車、自転車の鍵かけをしっかりと行いましょう。



**岩手警察署補導職員
松尾 美智子 氏**

我々が行っている防犯教室では、近年、スマートフォンや携帯電話などによるネット犯罪を扱っています。被害にあわないよう、相手をよく知ってください。知ることが身を守ることにつながります。



**葛巻町防犯指導隊長
土谷 典雄 氏**

誰でも被害者・加害者になる可能性があるため、自分だけは大丈夫という考えは改めてほしいと思います。そして、隣近所や親戚、家族などで情報交換してください。情報交換ができれば犯罪は防げます。



**盛岡中央消防署葛巻分署長
高橋 功一 氏**

今年2月の火災では死者が出ています。このケースでは住宅用火災警報器が設置されていませんでした。まだ警報器を設置していない方は速やかに設置し、届出をしていない方は届出をお願いします。



**葛巻町婦人消防協力隊長
元村 トモ子 氏**

婦人消防協力隊では、「自分の家、隣の家から火事を出さない」を合言葉に、普通救命講習や火災予防運動を行ってきました。これからも皆さまのご理解をいただきながら、防火活動を行ってまいります。



**葛巻町小中学校校長会会長
菊池 育子 氏**

学校でのいじめ、不登校が事件・事故につながる可能性もあると思います。教育の現場に携わる一員として、子どもたちだけでなく教員の教育を通して、子どもの心を見守っていききたいと思います。



①各関係団体と町民代表の意見交換会 ②県警察音楽隊による迫力の演奏 ③約450人が来場した会場 ④鈴木町長から防犯少年隊の認定証を受け取る上野さん ⑤パンやクッキーなど非常食の試食コーナー

町主催の「町民安全大会」は8月9日、葛巻小学校校体育館で行われ、一般町民や児童生徒、関係者ら約450人が出席しました。この大会は交通安全や犯罪、災害のない町をめざし、町民同士の連携を図りながら安心して暮らせる町づくりを進めるために行われたものです。

鈴木重男町長は「町では今年度、安心して暮らせる町づくりをより一層推進するための事業を実施しています。こうした機運を背景に、町民の皆さんも一人一人が地域安全活動のリーダーとなっていきたい」とあいさつしました。中崎和久町議会議長、岩澤嘉彦岩手警察署長、高橋利光盛岡中央消防署長の祝辞のあと、各関係団体と町民代表者らによる意見交換会が行われました。中田直雅町教育長が進行役を務め、8人のパネラーがそれぞれの立場から提言を行いました。

続いて、葛巻保育園の園児16人がお遊戯を披露。園児らのかわいらしい姿に会場は笑みを浮かべていました。お遊戯の後は園児みんなで「安全な町・葛巻を目指し

て、一人一人がよく考え、約束を守り、明るく声をかけあい、住みよい町・葛巻にしていきたい」と大会宣言を行いました。

午後からは、県警察音楽隊の演奏が行われ、朝の連続テレビ小説「あまちゃん」のオープニングなどの人気曲の演奏で会場を盛り上げました。また、防犯啓発の人形劇も上演され、ユーモラスな演技に、訪れた人々は笑いの渦に包まれながらも防犯に対する意識をより一層高めた様子でした。

その後、葛巻小学校1年生から葛巻中学校3年生までの児童生徒9人で組織する「小田防犯少年隊」の発隊式が行われました。隊を代表して上野祥平さん（葛巻中1年）に、鈴木町長から認定書が手渡されました。小田防犯少年隊は防犯少年隊として、町内2番目の認定団体となります。今後、地域の安心・安全のため、防犯・交通事故防止などの啓発活動を行ってまいります。

大会の最後に鳩岡明彦町PTA連合会長による大会宣言が行われ、来場者は安心・安全な町づくりへの決意を新たにしました。

安心・安全なまちづくりへ
決意を新たに



葛巻保育園の園児によるお遊戯・大会宣言